

お客様各位

2025年5月14日
PCPサポートセンター

USB 版 : Proof Checker PRO ver.6e から ver.7 へのバージョンアップ詳細 および
SE 版 : Proof Checker PRO SE (ver.1e) から Proof Checker PRO SE (ver.7) へのバージョンアップ
詳細について

Proof Checker PRO 製品をご愛顧いただきありがとうございます。

2025年5月14日付で、下記の修正を行いました。(修正内容は、USB 版/ SE 版とともに共通です。)

◎新機能

- レポート機能(印刷時にカバーページをつける機能)を実装しました。
- レイヤー機能(印刷対象オブジェクトのみを読み込んで照合する)を実装しました。
- 背景と同色の描画が行われた部分を顕在化表示する機能を実装しました。

◎機能改善

- 行送りがあった場合の表示(緑波下線)を改善しました。
- 新旧PDFを生成したアプリケーションが異なる場合は差分が多めに発生する傾向があるため、アウトプットに警告メッセージを出すように対応しました。
- 印刷時に、ページ範囲を示すページ枠と、移動オブジェクト数と不一致数を左上部分に印刷するように対応しました

◎不具合修正

- 環境設定の設定名を切り替えた際に、設定変更不可を示す表示が切り替わらない問題を修正しました。
- 用紙の外にオブジェクトが跨るページを印刷すると異常終了する場合がある不具合を修正しました。
- パターンを使用しているPDF読み込み時に異常終了する場合がある不具合を修正しました。
- 特定のデータにおいて特色(deviceN)が使われている場合に稀に異常終了する場合がある不具合を修正しました。
- 特定のデータにおいて縁取り文字の表示が正しくない不具合を修正しました。
- 枠なし面積ゼロの塗り領域が使われた場合、Acrobat同様に最小幅の線を表示するよう対応しました。
- Windows11(22H2以降)で用紙設定を行っても印刷ダイアログに反映されない不具合を修正しました。
- 印刷を行うとテキストの相違点が表示されなくなってしまう場合がある不具合を修正しました。
- 照合結果のページ数が多い場合に印刷を行うとページタブの表示がおかしくなる不具合を修正しました。
- 印刷時のグループ移動枠を太く修正しました。
- テキストの照合で、文字送り幅が0の部分に差分があっても表示されない不具合を修正しました。
- 特定のデータにおいてType1フォントが使われている場合に文字が表示されない不具合を修正しました

以上